

2022年度の事業方針について

1 2022年度事業の方針

(1) 渋滞対策、混雑対策（交通規制なし） 5月・7月

- ①交通規制は行わず、知床五湖のアクセス改善を目的とした乗り換え促進事業を実施する。
- ②来年度の暦と入り込み予測を踏まえて実施日を検討する。

(2) 従来方式のマイカー規制の取り扱い（知床五湖～カムイワッカ間交通規制あり） 8月

- ①8月のお盆を中心とした期間は、従来方式によるマイカー規制を継続する。
- ②以下の課題について、事業内容のあり方を検討する。
 - ・乗り換え拠点の再構築（ウトロ道の駅の活用、知床五湖地区の取り扱い）
 - ・運賃と運行スケジュール、座席管理
 - ・渋滞情報を含めた情報発信、周知広報

(3) 新方式でのバスデイズの実施（国道334号交点～カムイワッカ間交通規制あり） 9月～10月

- ① 試行事業の2年目として事業を継続する。ヒグマとの軋轢対策、環境保全、渋滞対策の観点に加え、野生動物観光や湯の滝の利用再開事業、誘客イベントと足並みを揃え、実施期間を検討する。
- ② シャトルバスの有償化を検討する。同時にゲート管理、運行管理コスト、効率的な決済システムの構築など運営体制の効率化を図る。
- ③ 事業予算として補助金の獲得を目指す。また、公的負担、利用者負担、民間負担のあり方についての検討も進める。

(4) 公園内の2次交通のあり方検討 上記期間以外

マイカー規制期間以外、公共交通が空白化しているカムイワッカ地区、岩尾別温泉地区へのアクセス手段について、近年の道路運送法の変化を踏まえた検討に着手する。（自家用有償旅客運送の可能性など）

(5) カムイワッカ湯の滝 試行事業

- ① 一の滝以奥の利用再開にむけた試行事業を継続する（2年目）。
- ② 試行事業の形態や期間は、今年度の事業成果を踏まえて検討する。バスデイズ等のアクセス事業と連携した事業展開を行う。
- ③ 2月実施予定のエコツアー検討会議までに、関係機関、ガイド等との協議を進める。

(6) カムイワッカ園地のあり方検討

近年の事業進捗を踏まえ、総合的なカムイワッカ地区のあり方についての検討を行う。同地へのアクセス、硫黄山や周辺地域における資源の掘り起こし、園地や園路等の利用環境、滞在環境の整備についての情報収集と意見収集を行う。

上記方針についてご意見を頂き、詳細内容は次回（第17回）
カムイワッカ部会で決定する